



「市の花」選定へ 第一回市の花検討委員会



一月二十一日、市の花を選定する「第一回市の花検討委員会」が、市役所で行われました。

開会にあたり竹内市長が「本市は市の木として「サツキ」を制定しています。市制四十周年を迎え、白根にふさわしい市の花を選定し、より潤いと安らぎのあるまちづくりを目指したい」と話しました。
市の花は、さまざまな分野で活躍する十人の市民の皆さんに「市の花検討委員」をお願いし、諮問されました。委員長の関根喜八郎さん（茨曾根）は「白根にはたくさんのお花が咲きますが、白根の良いイメージを伝える花を、みんなで検討したい」と話しています。

火災に備える決意、新たに 平成12年消防出初め式

一月九日、白根地域消防本部と市消防団合同の消防出初め式が、産業厚生会館などを会場に行われました。冷たい雨の中行われた分列行進には、消防職員・消防団員約百十人と消防車十台が参加。住民に火災予防を訴えると共に、防災に備える気持ちを新たにしています。
その後の式典では、消防団の無火災表彰が行われ、大郷（十二年間無火災）、新飯田（六年間無火災）、白井（三年間無火災）、庄瀬（二年間無火災）、根岸（一年間無火災）の各分団が表彰を受けました。



台中日本人学校の再建へ 白根小学校



「台中日本小学校再建にご協力をお願いします」と大きな声で呼びかける児童たち

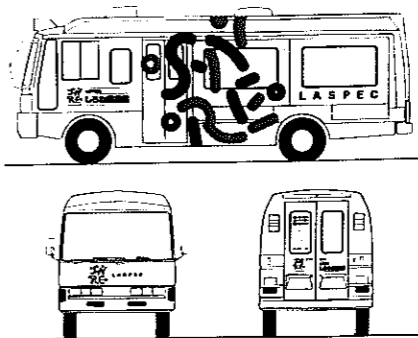
昨年九月の台湾中部大地震で倒壊した台中日本人学校の再建を支援しようと、一月十五日、市内の二つのスパーで白根小学校の五・六年生約三十人が募金活動を行いました。これは、同校五年生の武石歩惟さんが「お父さんが前に台中日本人学校に勤めていたので、少しでも役立ちたい」と、児童会のアイデア箱に提案。これに一年生から六年生までの児童約八十人が賛同したものです。実行委員会では、この後、校内でも募金活動を展開。総額約八万七千円が送金されました。

地域の健康を守ります 平成11年度白根市 栄養教室閉講式



市では、地域の健康づくりの担い手である「食生活改善推進員」の養成を目的とした「栄養教室」を開講。食事についての講義や調理実習など全六回のプログラムを、昨年五月から保健センターで行ってきました。一月十八日、最後の教室では「子どものための健康おやつ」の調理実習が行われました。試食会では調理の工夫が班ごとに発表され、受講生は互いに熱心に聞いていました。その後閉講式が行われ、竹内市長から受講生の三十一人に、修了証書が手渡されました。

白根学習館(LASPEC)情報 移動図書館がやってくる



白根学習館6月のオープンに先駆けて、図書館では四月中旬から移動図書館車（下図参照）の運行を始めています。
移動図書館車は、バス両側面の窓を上にと開くと、皆さんの目の前に小さな図書館が現れるという仕掛けになっています。バスの中には両側に書架がついていて、本が所狭しと並んでいます。
このバスは、児童図書を中心に約二千五百冊を積んで、市内十六カ所程度をそれぞれ二週間に一度巡回し、貸し出しを行う予定です。主に各小学校を中心に駐車ステーションを設けますので、子どもたちや地域の皆さんに気軽に利用していただけます。
□サービス満載、本も満載
南北に延びる白根の地を移動図書館車が走ります。移動図書館でのサービスの中心は貸し出しになります。が、読みたい本があれば、リクエストを受け付けることもできます。本の用意ができたなら、次の巡回でお渡しできます。お急ぎの場合には、直接新図書館のカウンターで受け取ることもできます。

□新刊書が続々到着
日本を代表する作家や評論家の皆さんから新刊書の寄贈をいただいています。呼び掛けに応じてくださった十人のお名前をご紹介します。
安西篤子さん（小説家）、井上篤夫さん（翻訳家、ジャーナリスト）、加藤幸子さん（作家）、川村亜子さん（作家）、北方謙三さん（作家）、黒井千次さん（小説家）、後藤千鶴子さん（小学館マーケティングBC主任）、佐藤洋二郎さん（小説家、中田耕治さん（小説家、劇作家、文芸評論家、翻訳家）、中野孝次さん（作家） ※五十音順
一月初めまでに一千冊あまりの本を送っていただきました。

まちづくりは我々の手で あかねの里づくり 協議会設立総会



十二月二十一日、新飯田商工会館で「あかねの里づくり協議会」の設立総会が開かれました。これは、平成十年度終了した「白根市地域住宅計画(HOPE計画)」の流れをくみ、「街なみ環境整備事業」として住宅、地区施設などの整備を図り、ゆとりと潤いのある住環境の形成を行っていくこととするものです。
会議には同地区の自治会や商工会などから代表者が参加。役員選任、運営方針などについて話し合いが行われました。住民主体のまちづくりは、本格的に始動しました。

あったらいいな、こんな公園 下八枚地区農村公園 第3回ワークショップ



旧戸石小学校跡地に、農村公園が建設されます。市では地域の活性化推進のため、地域の人が誰でも参加できる「ワークショップ（自由に意見を出し合い、自分たちで公園の計画を行う集会）」を、昨年十二月から開いてきました。
一月二十三日、三十人が参加した第三回ワークショップでは、公園の計画内容がまとまりました。
公園名も、三十五点の応募の中から渡辺吉一さん（戸石新田）の「白蓮ふれあい公園」に決定。平成十三年春の開園に、期待が高まります。